

栃木県テニス協会  
総監督：阿久津定之

## 1. 大会概要

- ・日程 平成30年8月3日(金)～8月5日(日)
- ・会場 神栖海浜庭球場
- ・主催 公益財団法人日本体育協会・茨城県・関東テニス協会  
関東ブロック各県教育委員会・神栖市
- ・主管 茨城県教育委員会・公益財団法人茨城県体育協会  
茨城県テニス協会・神栖市教育委員会・神栖市体育協会
- ・後援 スポーツ庁

## 2. 試合方法

- ・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

## 3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：玉腰敬大、木本和寿  
トレーナー：吉村健児 役員：吉井副理事長 渡辺強化副委員長

## 4. 試合結果

■成年男子 ブロック1回戦 対 千葉県：8月4日(土)

|     |              |       |              |
|-----|--------------|-------|--------------|
|     | 栃木県          | 0-②   | 千葉県          |
| S 1 | 玉腰敬大         | ●5-8○ | 小林雅哉         |
| S 2 | 木本和寿         | ●3-8○ | 蓮見亮登         |
| D   | 玉腰敬大<br>木本和寿 | 打ち切り  | 小林雅哉<br>蓮見亮登 |

■成年男子 ブロック敗者戦 対 茨城県：8月4日(土)

|     |              |              |              |
|-----|--------------|--------------|--------------|
|     | 栃木県          | ②-1          | 茨城県          |
| S 1 | 玉腰敬大         | ●8-5○        | 岩崎 歩         |
| S 2 | 木本和寿         | ○8-6●        | 平岡伸雄         |
| D   | 玉腰敬大<br>木本和寿 | ○9-8●<br>(2) | 岩崎 歩<br>平岡伸雄 |

■成年男子 代表決定戦 対 神奈川県：8月5日(日)

|     |      |       |      |
|-----|------|-------|------|
|     | 栃木県  | 0-②   | 神奈川県 |
| S 1 | 玉腰敬大 | ●4-8○ | 福田真大 |

S 2 木本和寿 ● 3 - 8 ○ 加藤彰馬

D 玉腰敬大 打切り 福田真大  
木本和寿 加藤彰馬

#### 所感

今年の関東ブロック予選は、成年男子のみで成年女子はストレートで本大会に出場できる。また、関東の成年男子出場枠は4つで、昨年より1つ減り、一段と厳しい関東ブロック予選会となった、

本県の代表選手は、シングルス1が昨年と同じ上武大学4年生の玉腰敬大選手、愛知県出身で高校が足利工業大学附属高校、本年度から高名が変わり足利大学附属高校の出身、ふるさと登録で出場している選手です。シングルス2の木本和寿選手は今回初出場で玉腰選手と同じ足利工業大学附属高校出身です。出身地は埼玉県で現在、東洋学園大学の3年生です。

成年男子の初戦の相手は、千葉県で今回の第4シードです。シングルス1の玉腰選手の対戦相手は早稲田の小林選手で2年前のインカレチャンピオン、7ゲーム連続でゲームを奪われたが、そこから玉腰選手も5ゲーム連取し、5-7としたがあと一歩及ばず、5-8で苦杯、シングルス2の木本選手もストロークの調子が良く、エースを取るもののゲームが取れず、3-8で敗れ、初戦をストレートで落とした。

これで、もう負けられなくなった2戦目、地元開催地の茨城県、シングルス1の玉腰選手は序盤、お互いサーブをキープしいいスタート切ったが、中盤。6ゲーム連取され1-7と追い込まれ、そこから4ゲーム連取し、7-5としたが中盤のブレイクが響き、5-7で落とした。シングルス2の木本選手の対戦相手は、ベテランの平岡選手、試合巧者でいろいろな引出しを持っている選手、簡単には勝てないと想定していた。木本選手は初戦に続きストロークが安定し、特にバックハンドの切れがあり、最後まで集中力を切らさず、8-6で接戦をものにし、ダブルスに望みを繋いだ。

ダブルスも先にブレイクしその後、お互い一歩も譲らず、7-6サーブ、ノーアドでマッチポイント、玉腰選手のバックのハイボレーがわずかにサイドアウトし7-7となり、ながれ茨城に傾いた。相手にサーブ簡単にキープされ、玉腰のサーブ、マッチポイントを奪われたが、相手のミスもあり何とかキープ、タイブレークともつれた。序盤からリードし流れは再び栃木になり7-2でタイブレークを制し2-1で勝利した。

大会2日目、反対のAブロック2位の神奈川県との最終戦、シングルス1の玉腰選手は、中盤まで4-4と接戦でしたが、後半は、相手の調子が上がり、4ゲーム連取され4-8で敗れた。シングルス2木本選手も善戦はしたが、やはり相手の実力が1枚上で3-8と落とし本国体出場は果たせなかった。

しかし、2人の選手には持てる力を十分出し切り、最後までよく戦ってくれました。この敗戦もきっと今後につながるものと確信しております。また、チームを支えてくれた吉村トレーナーをはじめ、県スポーツ振興課、県体育協会の職員の方々、応援に来て下さったたくさんの方々には大変お世話になり心から感謝しております。また、今回お世話になりました茨城県テニス協会の方々には、3日間にわたり運営をしていただき本当にありがとうございました。

今後とも栃木国体を目指し、精一杯頑張ってきますので、応援よろしくお願い致します。